



マッターホルン（清水利夫氏提供）

新年おめでと
うござい
ます

謹賀新年



調布市自治会連合協議会 会長 大久保 正二

新年おめでとございます。平成二十三年がスタートしました。さて、今年も新年早々、一月二十九日に調布グリーンホール（大ホール）にて、第二回「新春市民大集会」を開催致します。すでに、昨年末市内全ての自治会にその内容についてご案内を致しました。

今回は、「無縁社会」という現状の社会を憂い、「人と人との縁」と題して深大寺住職・張堂完俊氏に講話をお願いし、日本の伝統文化である「能楽」を、子供たちの「新能」も交え観世流梅若会山中冨昌氏に御願いしました。

この大会のキャッチフレーズは「ありがとうを伝えたい」といたしました。今日の社会状況は、この「言葉と心」が何よりも大切だと実感しているからであります。人々の笑顔が心を和らげ、安らげ、いつか「ぬくもり」が、生まれます。

自治会運営の基本は、正にこの「感謝の心」であり、楽しい地域づくりの基本でもあると考えております。私たちの組織は、自治会のため、市民のために在ります。

新春を迎えて

調布市長 長友 貴樹



明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい新春をお健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

国が掲げる「地域主権改革の推進」を実現するためには、地域を担う基礎自治体の責任ある行動がこれまで以上に求められております。昭和の調布を舞台に放送された昨年のNHK連続ドラマ「ゲゲゲの女房」を見るに付け、希薄な人間関係の中で目標を見失いがちな現代社会が抱えている大きな課題を考えさせられ、ぬくもりあるまちの構築に取り組まなければと決意を新たにしました次第です。今年も参加と協働の理念の下、市民の皆様のご協力をいただきながら各施策の着実な推進に努めて参る所存です。

調布市自治会連合協議会の皆様には、地域と行政とのパイプ役として引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げますとともに、貴協議会のみまますのご発展と皆様のご多幸を祈念申し上げます。

新たな挑戦！若者との交流開拓

■白百合女子大学生との意見交換

学生生活課職員同席の下、白百合祭（大学祭）の役員経験者3人に「調布市の住環境」や「地域との交流」について話を聞いてみた。

彼女たちは都内や近県に住んでおり、京王線で通学し大学で講義とクラブ活動を行うと、また仙川駅から京王線で帰宅するのが日課とか。その中で困っているのが、仙川駅から大学までの歩道が非常に狭く、乳母車を通るのが大変で登下校時の交通災害が心配だとのことでした。

「地域との交流」については、「ふれあいのつどい」等への参加や白百合祭に、地域の方々を招いたりして交流しているとのことでした。我々地域住民からも様々な形での交流を図り、共により良い関係・環境を創ることが期待できました。今後が楽しみです。

■興譲館寮長と入間一丁目自治会との意見交換

以前は、入間一丁目町内の皆さんとふれ合い行事（芋煮会、花笠踊り等）が有ったが、最近では寮内でコンパを行う程度となり、町内との関係が疎遠になってしまっているとの事です。特にバブル期以降、「かね」と「もの」だけの価値感に翻ろうされ精神的充実を見失っている都会の姿に影響される中、「心の充実」という価値感が見直されつつあります。

地縁のふれ合い活動 歳末警戒活動に参加

寮長提案で、ご当地の歳末見回りに参加が決まっています。また米沢市長・米澤有為会のご提案で十一月二十八日に郷土意識を生かしながらグローバルな「新しい文明」への取組みを示す「文化大学」が、開校されました。

(社)興譲館(学生寮) 沿革

山形県米沢有為会が運営する学生寮が、45年前に入間町1丁目に移転。その基は、120年前の米沢藩本郷合宿所にある。有為会は、郷土愛と日本に役立つ人材育成を図っています。

白百合女子大学 沿革

1878年：シャルトル聖パウロ修道女会が函館に修道院創設。その後、神田に学校新設。白百合学園の基礎となる。
1965年：4年制大学設立。

福祉まつり カフェふれあいコーナー出店！

十二月五日、四十一団体参加の下「福祉まつり」が、快晴の市役所前で盛大に行われた。
昨今、家族や地域のつながりは薄れ、一人で暮らすお年寄りが孤立する・・・。住み慣れた町で安心して暮らし続けたい。そのためには、話し合い交流による豊かなコミュニティ造りが重要だと思い「カフェふれあいコーナー」を設け、温かいコーヒーを愉しみながら市民の皆さんの話し合い交流の場として頂きました。
ステージでは、「自治連協最大の課題である『笑顔輝く楽しい街、美しい街、素敵な自治会のある町』は、一朝一夕に完成するものではありません！しかし、私達は、この壮大な夢の実現に向かって着実に日々の活動に邁進して参ります。」と大久保会長が、皆さんに訴えました。
また、深大寺東自治会のみなさんによるコーラスもあり、福祉まつりの盛り上げに一役演じました。パザーも皆さんの協力により、多くの品物が集まり、コーヒー、お団子、生ラーメン等全てが好評で、沢山の福祉活動資金を社会福祉協議会に納入する事が出来ました。
加盟自治会の皆様のご支援、誠にありがとうございました！

調布市自治連協主催

新春市民大集会

平成23年1月29日(土)
12:00 開場
13:00 開演
調布市グリーンホール



布田小にて地域防災訓練実施される！

十一月二十一日薄日差す穏やかな朝、布田小学校に学区域内十四自治会中の自治会員が参集。その数は、来賓・関係者を含め四百人に達した。

市長代理の小林副市長、菊田調布消防署長のご挨拶をいただき訓練開始！参加者は、小グループに分かれ、十二種目の訓練を順次体験する。今回は、子供が興味ある「ミニSL試乗」「一日消防士体験」を用意。長蛇の列ができる人気ぶりだった。

PTAにミニSL敷設の手伝いを、消防団第五分団にポンプ車での地域内宣伝をお願いした。避難訓練に警察官が同道する初めての試みも行われた。

会場では、自治会委員による炊き出し、健全育成・学校開放メンバー等による各部門の整理、ボランティアグループによる避難所体験指導がされた。



計画から半年、自治会長を始め関係機関・団体のみなさんとは数次の会合で連携を深め、強い協力関係が築かれた。地域との結びつきを強めたいとする学校からも格別のご協力をいただいた。

多くの方の努力の結果で行われた訓練は、天気にも恵まれ無事終了、総じて好評を得た。参加者の感想・意見の一部を紹介すると、

◎子供でも楽しめ、良い経験が出来た
◎我が家でも、地震に備えなければと思った。

◎近所の助け合いが必要と感じた
◎自治会相互の繋がりが出来た
等である。

大勢の力で成功させた防災訓練、この経験が安全で住み良い街づくりに活かされると信じ、訓練にかかわった全ての方に心から感謝申し上げます。

福祉委員会 委員長 清水 正巳

■小地域交流事業の支援

季節はずれの台風で強い雨の降りしきる中、入間地域福祉センターで行われた「入間はつらつ地域まつり」。社会福祉協議会主催、実行委員会運営で市内十三ヶ所で行われている内、昨年、自治連協は五ヶ所を訪れ、自治会の重要さ、大切さを大久保会長が訴えました。昨年の夏、高齢者の所在不明が相次いで発覚した。すさまじい勢いで進む高齢化。雇用と家族の崩壊。高齢になればなるほど社会とのつながりが薄くなる。住み慣れた地域で暮らし続けたい。そんな願いを叶えられる仕組み作りを、自治体、市民、地域福祉の担い手と一丸となって発信して行くのが急務だと思ふ。

■今年の展望

今年には福祉まつり、小地域交流事業の継続参加を通じて、自治会ならではの出来ぬ地域福祉事業を促進させて行きます。

安全委員会 委員長 伊藤 陽介

■昨年の回顧

■基本方針 目標を「地域密着型総合防災訓練の実施」に置き、体制作りのために手順を尽くすことに心掛けた。

■地域の選定と協力 市の防災訓練実績等を参考に、布田小学校を選び、自治会・学校・関係機関と協議を重ねて全面的な支援を得た。

■訓練内容に創意 一昨年の若葉小学校での内容を踏襲しつつも避難所体験や子供向けのイベントを導入、興味を呼ぶ工夫をした。

■訓練結果 参加者四百人。好評で、自主防災・地域防災の意義を高めるのに役立った。

■今年の展望

昨年の経験を活かし、より充実した訓練・より効果的な安全対策事業に取り組みたい。

企画・事業推進委員会

委員長 矢田部 正照

平成二十二年度の当委員会の活動は、毎年実施の「味の素スタジアム感謝祭」や「調布飛行場祭り」への自治連協のPRを兼ねた出店を実施致しました。

「市民大集会」の開催は、三年に一度となっております。第二回目となります今年度は、新春に相応し「人と人との縁」と題した深大寺住職の講演や、深大寺山門で演じられた新能をグリーンホールの大舞台で、解説を交えて演じていただきます。能の後半は、二歳から十一歳の子供たちによる可愛らしい能が演じられます。この他にも、アンケート調査を考えております。各自治会長さんには、宜しくご理解とご協力をお願い致します。次年度は、継続する二事業とアンケート結果を参考に活動を考えたいと思っております。

総務委員会・広報担当委員会

広報担当委員長 荒井 清勝

■総務委員会の活動

理事会機能の強化と委員会活動の活性化を盛り込んだ会則改訂が実施されました。この会則改訂は、自治連協の更なる発展を「規則」と言う基盤で支えるものであり、今後とも検討・強化する必要があります。

自治連協の基盤強化の活動として、「年会費の徴収率向上策」の検討を行いました。年会費の徴収は、重要な自治連協の活動基盤であり、明朗で適正な支出と共に重要な活動です。会員の皆様のご支援をお願い致します。

■広報担当委員会の活動

広報紙「ちょうふ」夏号を発行しました。

■本年の展望

- 総務
 - 体制強化と長期方針の策定
 - 広報
- 広く一般に向けて情報発信するためのホームページの開設

賛助会員

敬称略

- 調布市社会福祉協議会
- 共同募金調布地区協力会
- 調布交通安全協会
- 調布地区防犯協会
- 調布市災害防止協会
- 高津美術装飾株
- 深大寺 林建設株
- 共進倉庫株 齊藤倉庫株
- 永易運輸株 研精会 山田病院
- 橋本石材株 (株)ウィード
- 昭和信用金庫多摩川支店
- (有)薩南温調 シマダハウス株
- 京王建設株 京王バス東株
- (株)レストラン京王
- 緑ヶ丘一丁目自治会
- 緑ヶ丘二丁目自治会
- 緑ヶ丘西部自治会
- 緑ヶ丘自治会
- 西つつじヶ丘第四自治会
- 仙川緑ヶ丘若葉町親和会自治会
- 深大寺元町一丁目自治会
- 林 貞夫 増岡 源吾
- 矢田部新一 川手 一郎
- 恩田 章司 元木 輝昌
- 藤橋 道夫 川原 主計
- 山崎彦二郎 平林 伸作
- 大久保正二

温かいご支援に感謝!

振り込め詐欺にご注意

調布警察署 生活安全課

最近、お年寄を狙って「あなたの口座が犯罪に使われている」等と警察官を偽りキャッシュカードを騙し取り、その後現金を引き出す事件や、息子や孫になりすまし「株取引で失敗した。今日中に返さないと首になる」と騙して現金を振り込ませるといふ「振り込め詐欺」が発生しています。

★振り込め詐欺を防ぐために

〜三つのウソ電話に注意〜

- ① 警察官・銀行協会・裁判所等を騙って「キャッシュカードを渡して下さい。」等と言われてもカードを渡したり暗証番号を教えたりしない!
- ② 市役所職員を名乗って「医療費が戻ります。ATMへ行って下さい。」等と言われてもATMで手続きすることは絶対有りません!
- ③ 息子や孫のふりをして「携帯番号が変わった。」と言われてたら元の番号にかけ直して確認して下さい。

